

東京都社会福祉審議会 公開研究会をオンラインで開催

～福祉分野における新型コロナウイルス感染症の
影響と今後の課題～

- 昨年から日常生活を一変させ、流行の波を繰り返している新型コロナウイルス感染症は、福祉分野にも大きな影響を及ぼしていると考えられます。
- そこで、東京都社会福祉審議会では、公開研究会を開催し、新型コロナウイルス感染症が各福祉分野に及ぼした影響や課題、今後の展望等について、各分野の専門家から発表いただいた上で、委員等による意見交換を行うこととしました。
- 研究会で得られた知見は、今期の審議会の検討課題の設定や、意見具申に向けた議論に生かしていきます。

開催概要

第1回 令和3年9月6日（月曜日）午後6時～午後8時

分野及び発表者

【家族】	山田 昌弘	委員（中央大学教授）
【生活困窮者】	岡部 卓	先生（明治大学公共政策大学院教授）
【児童】	柏女 霊峰	先生（淑徳大学教授）
【高齢者】	市川 一宏	先生（ルーテル学院大学大学院教授）

第2回 令和3年9月24日（金曜日）午後4時～午後6時

分野及び発表者

【女性】	白波瀬佐和子	委員（東京大学大学院教授）
【地域】	室田 信一	委員（東京都立大学准教授）
【障害者】	小澤 温	先生（筑波大学大学院教授）
【フレイル】	久野 譜也	先生（筑波大学大学院教授）

※ Microsoft Teamsを使ったオンライン会議となります。

※ 各回とも、発表(20分×4名)の後に意見交換の時間を設けます。